

市制 100 周年！ 開校 50 周年！！



中野北だより

平成29年度 第9号

平成29年11月14日
八王子市立中野北小学校

ホームページアドレス <http://hachioji-school.ed.jp/nkkte/>
(「中野北だより」のカラー版は、ぜひ、本校のホームページで！)

学力調査特集号



6年生、全国学力 NO.1



注)一部の問題

八王子市立中野北小学校

校長 齊藤 郁央

やりました！やったのです！！

本校の6年生が、**学力で全国の小学校の頂点に立った**のです！！・・・ 注)一部の問題

【「平成29年度 全国学力・学習状況調査」(平成29年4月18日実施)の各問題の平均正答率(%)】

	問題	内 容	全国	東京都	八王子市	本校
国語 A	7-(3)	漢字を読む(申し込み期限)	94.5	94.3	92.9	100
	7-(6)	漢字を読む(指示)	94.5	93.9	92.3	100
算数 A	1-(1)	リボンを2m買ったときの代金と3m買ったときの代金を書く	96.9	97.4	97.0	100
	2-(2)	10. 3 + 4を計算する	79.7	84.5	82.0	100
	2-(4)	5 ÷ 9の商を分数で表す	69.2	66.3	55.0	100

今年度の「全国学力・学習状況調査」の一部の結果を上表にまとめました。

ご覧のとおり、本校は、「国語A」で2問、「算数A」で3問、「正答率100%」を達成しました。

「正答率100%」は、当然ですが、これ以上の結果はありません。堂々とした**全国1位**です！

この学力調査を受けた日本全国の小学校数は、19,645校です。その中の頂点に本校が立ったのです！

この4月に校長として着任した私は、着任早々、6年生の担任を呼んで、次のように話しました。

「6年生を、全国NO.1にしよう！そして、あなたが全国NO.1の担任になろう！」

そして、出会ってまだ数日の6年生たちにも、次のように話しました。

「頑張って、絶対に全国のトップに立とう！やれば、必ずできる！」

担任や6年生にとっては、「今度来た校長、いったい何を考えているんだろう？」と思ったことでしょう。

しかし、私は、どうしても6年生に「全国NO.1」の称号をとらせたいと思っていました。

開校50周年の記念すべき6年生、開校以来最高の6年生として、自信をつけさせたかったのです。

しかし、「正答率100%」は簡単なことではありません。普通にしていれば、まず達成できません。

私は、これまでの学力調査の問題傾向を分析しました。学力調査は「模試」ではありません。国として、児童の実態を把握することが目的ですから、実は、例年、同様の問題が出題される傾向があります。

例えば、「算数A」の「2-(2)」の問題は、「小数のたし算やひき算は位をそろえて計算する」ということが分かっているならば、それほど難しい問題ではありません。平成28年度には「4.65 + 0.3」、平成27年度には「6.79 - 0.8」という同様の問題が出ています。

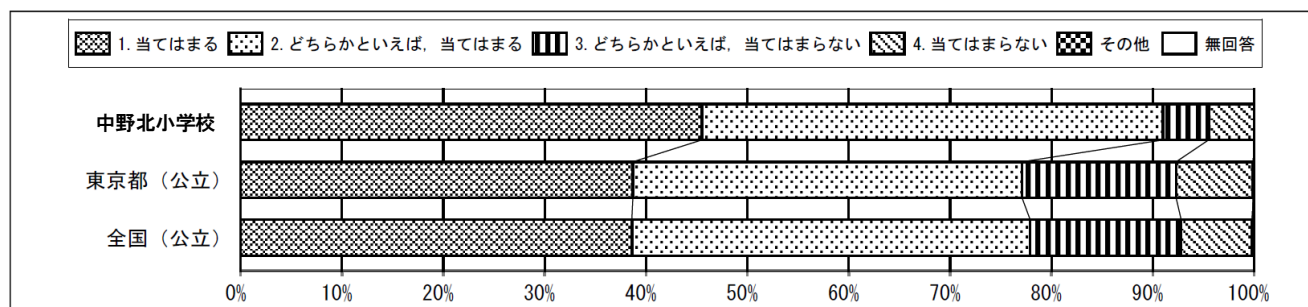
この問題の全国の平均正答率は79.7%。今回の調査を受けた児童数は1,012,581名ですので、何と、全国で約20万人もの6年生がこの問題を間違えていることになります。しかし、本校は、全員正答です！

1学期の始業式から学力調査の実施日まで2週間もありませんでしたが、こうした「過去問」を分析し、特に誤答の多い問題について集中的に特訓を行いました。このことが「正答率100%」に結び付いたのです。

「一夜漬け」に近い特訓ですが、私は、とにかく、6年生に「頑張れば、必ずできるようになる」という信念をもたせ、結果を出すことにより「自分はすごい!」という自尊感情を高めさせたかったのです。

「全国学力・学習状況調査」では、児童質問紙として、児童の自尊感情を問う設問があります。

質問内容		選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4
自分には、よいところがあると思いますか	本校	45.5	45.5	4.5	4.5
	東京都	38.7	38.4	15.2	7.6
	全国	38.6	39.3	14.9	7.0



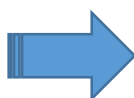
「自分には、よいところがあると思いますか」との設問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した本校の児童の割合は、**91.0%**。これは、東京都の77.1%、全国の77.9%に比べて、13%以上上回る非常に高い数字です。

ちなみに、平成27年度の調査では、同じ設問に肯定的に回答した本校の児童の割合は、52%。東京都の75.9%、全国の76.4%を23%以上も下回っていました。

このことから見ても、本校の6年生は、自分に自信をもち、前向きに物事を捉えていることが分かります。

【平成27年度と平成29年度の「全国学力・学習状況調査」の平均正答率(%)の比較】

平成27年度	国語A	国語B	算数A	算数B
本校	47.7	48.0	56.8	28.0
東京都	72.3	66.5	77.4	47.8
全国	70.0	65.4	75.2	45.0



平成29年度	国語A	国語B	算数A	算数B
本校	71.0	54.0	84.0	44.0
東京都	76.0	60.0	81.0	49.0
全国	74.8	57.5	78.6	45.9

学力調査全体の結果から見ても、本校は、「算数A」で東京都、全国を上回る好結果が出ました。

一方、まだ「国語A、B」、「算数B」は東京都、全国を下回っており、特に活用の力をみる「B問題」には課題が残っています。

しかし、平成27年度の調査では、「国語A」が東京都を24%以上下回るなど、全ての調査問題で大きく平均正答率が下回っていた状況から比べると、その差を大きく縮めています。



【「We are NO.1!」と叫ぶ6年生】

6年生は、夏のプールで全員25m泳ぎ切ることができるようになるなど、これまで、「頑張れば、必ずできるようになる」ということを達成してきた学年です。

こうして得た自信は、卒業までのあと4ヶ月の生活に生きるはずですし、中学校以降の自分の人生にも必ずプラスになると思います。

この学校だよりをご覧になった「なかきた家族」の皆様には、本校の6年生に対して、「全国NO.1の6年生!さすが!!」と声かけしていただければ幸いです。



5年生、東京都学力 NO.1



注)一部の問題

やりました！やったのです！！

本校の5年生が、**学力で東京都の小学校の頂点に立った**のです！！・・・注)一部の問題

【「平成29年度 児童・生徒の学力向上を図るための調査」(平成29年7月6日実施)の各問題の平均正答率(%)】

	問題	内 容	東京都	本校	
国語	2-(2)	漢字を読む(平等)	73.1	100	「正答率 100%」 全6題
	7	文の中における主語と述語の関係について理解できている	39.3	100	
社会	1-(1)	地図を基に、身近な地域の様子を四方位から読み取る	66.4	100	「正答率 100%」 全7題
	3-(1)	自分たちが通う小学校がある区市町村の位置を理解している	62.8	100	
算数	4-(1)	基準量、比較量、割合の関係を図に表すことができる	64.2	100	「正答率 100%」 全9題
	6-(3)	180° より大きい角度の求め方を考えることができる	67.8	100	
理科	3	安全に実験を行うための方法や加熱器具の取り扱い方を理解している	58.0	100	「正答率 100%」 全9題
	4-(1)	乾電池の数やつなぎ方を変えると、モーターの回る速さや向きが変わることを理解している	57.9	100	

11月9日、「平成29年度 児童・生徒の学力向上を図るための調査 報告書」(東京都教育委員会)の内容が公表されました。

6年生と同様に、「正答率100%」の問題に注目したところ、次のような結果となりました。

国語・・・出題数20問のうち、「正答率100%」の問題が6問

社会・・・出題数23問のうち、「正答率100%」の問題が7問

算数・・・出題数32問のうち、「正答率100%」の問題が9問

理科・・・出題数20問のうち、「正答率100%」の問題が9問

この「児童・生徒の学力向上を図るための調査」は、東京都内の1,285校の小学校、91,434名の5年生が受けています。本校の5年生は、各教科の「正答率100%」の問題で**東京都1位**になったのです！

繰り返すように、「正答率100%」は簡単に達成できるものではありません。

例えば、上の表の国語の「7」の問題は、東京都では、4割弱の児童しか正答していません。何もしなくて「正答率100%」になるほど易しい問題ではないということです。

4月18日の6年生の「全国学力・学習状況調査」が終わった後、校内では、自主的に採点を行っており、文部科学省の正式な結果が公表される前に、「正答率100%」の問題が出ることは予想していました。

そこで、運動会が終わった6月に、5年生の担任と子供たちに、
「6年生は、全国NO.1になれるかもしれない。5年生も、東京都NO.1を目指してほしい！」
とハッパをかけました。

当時は、全校的に「にぎにぎ大作戦」で握力強化を図っていましたが、5年生は並行して、この「児童・生徒の学力向上を図るための調査」を目標に対策を進めていたのです。

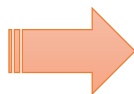
具体的には、「過去問」で、社会科では自分の市や近隣の県の地図上の位置が問われることがあったため、重点的に復習を行いました。今回は、予想的中でこの問題が出て、「正答率100%」につながったわけです。

5年生自身も、過去数年分の調査問題に自主的に取り組むなど、東京都NO.1を目標に頑張りました。

校長としては、子供たちに学力がつくことはもちろんのこと、「やれば結果がついてくる」という経験を積ませることが大事だと考えています。このことは、児童質問紙の自尊感情を問う設問の回答につながります。この設問について、平成25年度と今年度の回答状況を比較してみました。

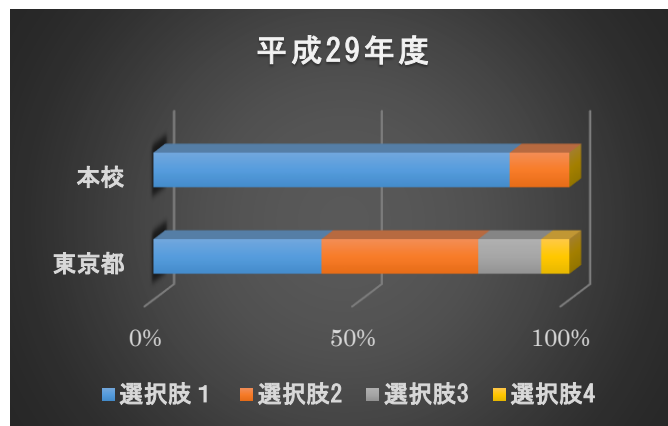
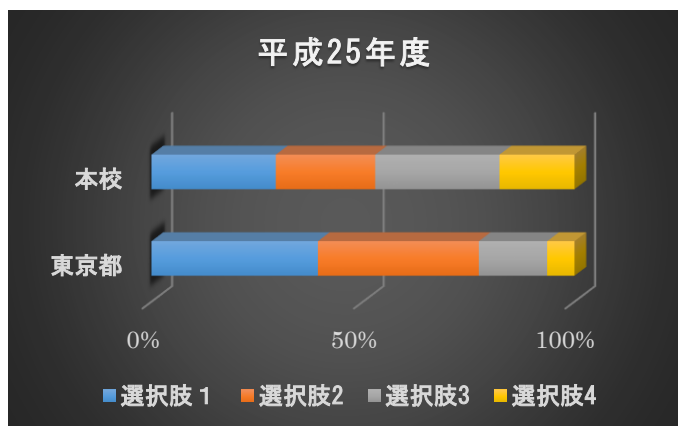
【児童質問紙の「自分のことを大切な存在だと感じていますか。」の設問の回答状況(%)の比較】

平成25年度	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4
本校	29.4	23.5	29.4	17.7
東京都	38.5	37.2	15.8	6.3



平成29年度	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4
本校	85.7	14.3	0	0
東京都	40.0	37.3	14.9	6.7

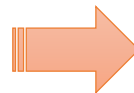
(選択肢1「感じている」 選択肢2「どちらかといえば感じている」 選択肢3「どちらかといえば感じていない」 選択肢4「感じていない」)



平成25年度は、「選択肢1,2」の肯定的回答が52.9%にとどまり、東京都の75.7%を20%以上下回っていましたが、今年度は、**肯定的な回答が100%!** 東京都を逆に20%以上上回っています。最も肯定的な回答である「選択肢1」が85.7%で東京都を40%以上上回るなど、大変素晴らしい結果となりました。

【平成25年度と平成29年度の「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の平均正答率(%)の比較】

平成25年度	国語	社会	算数	理科
本校	50.4	41.2	37.5	42.6
東京都	70.3	62.2	62.4	60.5
本校と東京都の差	-19.9	-21.0	-24.9	-17.9



平成29年度	国語	社会	算数	理科
本校	68.9	78.6	72.3	87.5
東京都	68.1	71.8	60.7	72.2
本校と東京都の差	+0.8	+6.8	+11.6	+15.3

さらに、学力調査の各教科の平均正答率の変化を比較すると、上の表ようになります。

残念ながら、平成25年度当時は、各教科が東京都の平均正答率を大きく下回り、算数では、25%近くも差がつく状況でした。

しかし、今年度は、**全教科が東京都の平均を大きく上回りました。**特に理科は、東京都の平均を15%以上上回り、東京都の最上位と言ってよい結果を出しました。算数も、平成25年度と比べると、東京都との差が36.5%も改善する、驚異的な伸びをしています。

児童質問紙の回答によると、本校の5年生の児童は、塾などに誰も通っていません。

つまり、今回の学力調査の結果は、子供たちが学校と家庭で学習を頑張った純粋な結果ということになります。



【「東京一」の5年生】

これは、とてもすごいことで、5年生自身が頑張った証拠です。この学校だよりをご覧になった「なかきた家族」の皆様には、本校の5年生に対して、6年生同様、「東京都NO.1の5年生!さすが!!」と声かけしていただければ幸いです。

12月5日(火)には、4年生対象の「八王子市学力定着度調査」が行われます。

4年生、今度は、みなさんの番です!頑張りましょう!!